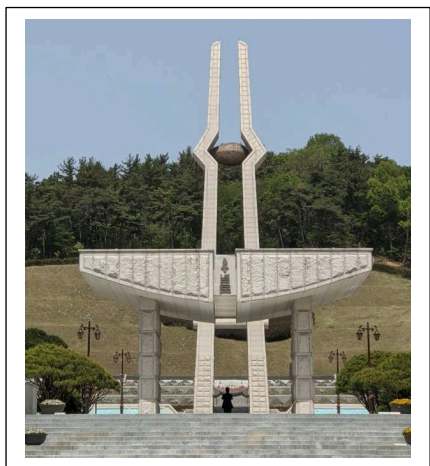


# OMU Students 海外留学レポート



氏名 河本 慧里  
所属 現代システム科学域  
環境システム学類  
学年 3年  
留学先 韓国 全南大学  
留学期間 2023.08.26~2023.08.10

まず初めに、私は韓国の南の方にある全羅南道の光州という地域の国立大学、全南大学に交換留学として一年間留学しました。私が韓国に留学しようと思ったきっかけは主に二つあります。一つはもともと大学生のうち留学を経験したいという思いがあり、関心があった韓国に行きたいという思いがあったからです。中学生のころから韓国のアイドルであったり、ドラマが好きで韓国文化に触れてきました。大学生になり、韓国ドラマだけでなく韓国映画を見る機会が増えたのですがその時に韓国語特有の表現に魅力を感じ、もっと本格的に韓国語を学びたいと思い留学したい思うようになりました。二つ目は私自身メディアという学問に関心があり、メディアやインターネットが普及、発展している韓国でメディアと社会の関係について学びたいという考えから韓国で留学をすると決めました。大阪公立大学は韓国のいくつかの大学と提携を結んでおり、その地域も様々です。その中でも光州という地域を選んだのは光州は過去に民主化運動が活発に行われていた地域であり、それを題材にした映画を見たときに光州という地域を知り関心を持ちました。実際に光州という歴史的な地域で学ぶことで韓国の歴史について学べると思い光州の地域を選択しました。また、ソウルなどの都市と比べ日本人留学生も少なく韓国語を学ぶのに適した環境だと思ったのも理由の一つです。実際に光州には日本語表記もほとんどなく韓国語を使わざるをえない環境でした。その環境が私にはよりあっていて感じました。



留学を経験してみて、その国の生活や言語に慣れるにはやはり時間がかかると感じました。それでもすべてが新鮮で韓国の文化に触れるたびにワクワクしました。実際に韓国人の学生と授業を受けることの難しさも感じましたし、他の外国人の学生とともに韓国語を勉強し、上手く話せるように努力しあう時間はとても楽しい時間でした。特に今回の留学期間では大学院生を通して光州の女子高校に日本文化を教える授業をするという貴重な体験をできました。韓国の高校では英語の他に日本語または中国語を選択し授業をうけます。授業をすると学生たちは一生懸命授業を聞いてくれ日本に関心がある学生の多さに驚きました。韓国語で学生に対して授業をするため他の学生と一生懸命準備をしました。とてもいい経験になりました。

韓国は日本とも比較的近い国なので文化的にも似ているところもありますが実際に生活してみるとやはり国が違うと文化も違うなどと感じました。それでも韓国料理はどれも美味しく韓国の方も優しく接してくれました。たまに日韓関係について意見を求められることもあり、そうした国際問題に関して知識をつけ日ごろから考える必要があると感じました。学校の交換留学生向けのプログラムなどを通して光州



